

授業科目

公衆栄養学II

担当教員名 鈴木 一恵	対象学年	3	対象学科	健栄
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	○	◎

授業の概要

公衆栄養学1、2、公衆栄養学実習1、2を通じて、地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報および住民ニーズを収集分析し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネージメントに必要な理論と方法を修得する。公衆栄養学2では、公衆栄養マネージメントの理論、公衆栄養アセスメント、計画、実施、評価の理論と方法について修得する。

授業の目的

授業を通して、国民、地域住民、職域などさまざまな集団を対象に、食と健康の関連を明らかにし、望ましい食生活の実現に向けた公衆栄養活動を推進するための基本的な知識と技能を習得する。

学習目標

1. 公衆栄養マネージメントの概念と枠組みについて、イメージし、記述できる。
2. 対象や目的に応じた公衆栄養アセスメント（食事調査等）方法を選択しできる。
3. 食事調査（食事記録法）を実施し、栄養素レベル、食品群レベル、料理レベル、食事レベルの解析と評価ができる。
4. 食事と関連因子の関連についての解析と評価ができる。
5. 自治体等の健康・栄養データから地域の栄養課題を読み取り、栄養疫学的な解釈ができる。
6. 対象集団の課題や社会のニーズにあった目標設定ができる。
7. 公衆栄養プログラムの計画を立案できる。
8. 公衆栄養計画の評価計画を立案できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	公衆栄養マネージメントの概念、プロセス、アセスメント項目の設計	講義	
2	公衆栄養アセスメント：栄養アセスメントの種類、食事記録の留意点	講義	
3	公衆栄養アセスメント：食事記録の解析方法（栄養素、食品群別摂取量）	講義	
4	公衆栄養アセスメント：食事評価法（食事バランスガイド等を用いた診断）	講義	
5	公衆栄養アセスメント：食事評価法（食事摂取基準を用いた診断）	講義	
6	公衆栄養アセスメント：栄養疫学	講義	
7	前半（食事調査と解析）の発表会	ワークショップ	
8	公衆栄養マネージメントの方法、健康、栄養データから課題の把握	講義	
9	栄養課題に対応した目標の設定方法	講義	
10	目標から対策へのつながり（計画の体系化）	講義	
11	自治体の栄養プログラムの種類	講義	
12	自治体の栄養プログラムの事例	講義	
13	公衆栄養計画の評価	講義	
14	後半（自治体の公衆栄養計画）の発表会	ワークショップ	
15	まとめ	講義	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	わかりやすいEBNと栄養疫学	佐々木敏	同文書院	2012年	2,500円＋税	最新版
参考書	食事調査のすべてー栄養疫学ー	Willett W.	第一出版	2003年	4,300円＋税	
その他の資料						

評価方法

筆記試験、積極的参加の程度

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

研究室 連絡先 025-257-4421 (内線5204)